

三陸新報

三陸新報社

〒988-0141

気仙沼市松崎柳沢228-100

電話 0226 (22) 6700(代)

FAX 0226 (23) 6100

URL <http://www.sanrikushimpo.co.jp/>

e-mail news@sanrikushimpo.co.jp

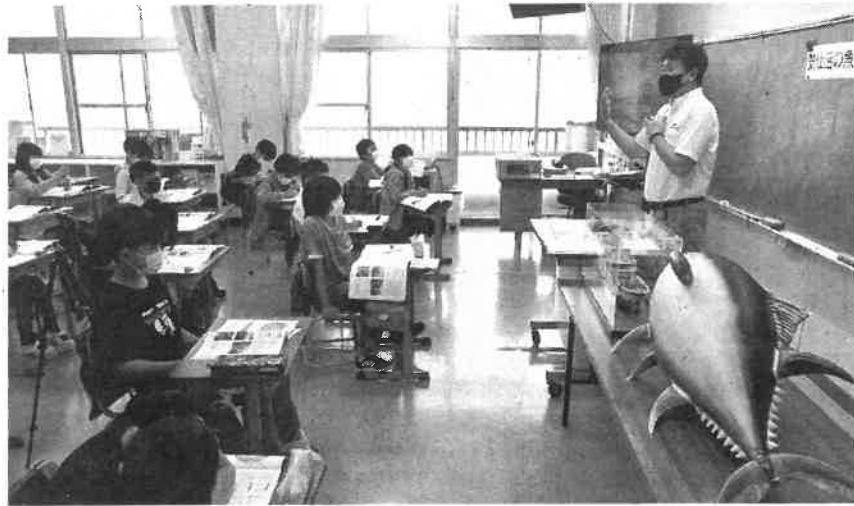
© 三陸新報社 2022年

持続可能な漁業考える

小瀬 5年生 マグロ船の取り組み聞く

気仙沼市立面瀬小学校(山田潔校長)で24日、マグロ漁業を通じてSDGs(持続可能な開発目標)を学ぶ授業が行われ、5年生33人が日本の魚食と環境について学び、未来へと持続させていくために何ができるか考えた。

講師は「気仙沼の魚を学校給食に普及させる会」の臼井壯太郎会長。経営する臼福本店



臼井会長(左)の講話を聴く児童

が所有するマグロ船を例に、長い航海をする船員にとって「家」となる船の居住性を高めるなど、なり手不足を解消して漁を続けるための魅力化の取り組みを紹介した。

資源管理は、取ったマグロ1匹1匹にタグを取り付けて漁獲量を把握・制限する方法で、破れば厳しい罰則があると説明。世界的に取組むことで、絶滅危惧種だった大西洋のクロマグロの数が回復したとする一方、違

法操業で取られたものが国内に入り込んでいく問題を指摘した。

持続可能性を重視する国際認証(MSC)を取得して操業していることや海洋ごみ、乱獲、過剰養殖、産地偽装などSDGsにとつての課題も解説した。

最後に「漁業の衰退を食い止めるには『食べて支える』ことが大事。これからもずっとおいしい魚を食べられるように、漁師さんを応援してほしい」と呼び掛けた。

千葉結月さんは「大昔から食べられているマグロを未来でも食べ続けられるように、ごみを減らすなど環境のためにできることをしていきたい」と話した。